



萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより 8 号

平成 30 年 11 月 13 日

目指す子供の姿 **や**さしく **か**しこく **た**くましく

将来の夢や希望に向かって 一日々の努力を引き出すー

校長 高 岡 薫

11 月 5 日、本校の 4 年生を対象に、「プロ直伝！とやま夢づくりスポーツ塾」が開催されました。これは、憧れのプロ選手が直接指導を行うことにより、子供たちに大きな夢を与えると同時に、技術の向上を図り、プロスポーツチームとして地域に貢献することを目的とした事業であり、富山県からの委託によってプロサッカークラブである「カターレ富山」が開催しているサッカー教室です。

当日、来校したプロサッカー選手は「ミッドフィルダー 佐々木陽次さん」で、いろいろと準備をしてくださるコーチとともに、サッカー教室の講師を務めてくださいました。まず、ウォーミングアップとして、子供たち一人一人がドリブルをしながらボールをよけるゲームをした後、チーム対抗のゲームをしました。場所が体育館ということもあり、少し狭くてやりにくいのではないかと、ゴールやエリアはどうするのだろうと思いましたが、そのとき、コーチは次のように説明されました。

「ゴールは 2 つずつあります。広いゴールは 1 点、狭いゴールは 2 点です。ボールは転がして入れましょう。ゲームの途中で、壁にボールがあたるときもありますが、できる限り続けていきましょう。」

ゴールは、赤いカラーコーンを立てて設置し、ゴールキーパーはいません。説明されたように、広い間隔のゴールと狭い間隔のゴールがあり、どちらを狙ってもよいということでした。たったこれだけの決めごとでゲームをしても大丈夫なのだろうかと少し心配になりましたが、それは無用なことでした。

子供たちは壁に当たってもボールをつなぎ、そして何度もゴールを狙うことに夢中になりました。それは、左右にゴールがあることによって、ボールが来ればシュートするチャンスは誰にでもあり、シンプルなルールによって、ボールを追いかける楽しさやパスでつないでいくおもしろさが倍増したからだと考えます。さらに、そのゲームの中で見るプロの技に、子供たちは「さすがプロ」という感嘆の声を上げつつ、いきいきと取り組むことができました。

サッカー教室が終わってから、私は佐々木陽次さんと次のような会話をしました。

「小学生のころからサッカーをしておられるそうですが、勉強の時間をどうやって確保しておられましたか。」

「ぼくは、必ず宿題をすることと、学校の勉強をしっかりとやることを親と約束しました。」

「友達とゲームをしたいとか、遊びたいとか思いませんでしたか。」

「それよりも、サッカーをしたかったから、先に何をすべきか考えて行動しました。」

「サッカーが大好き」「プロになりたい」という強い気持ちをもつこと、つまり自分の将来の夢や希望をもつことで、自分の生活をよりよいものに律することができるのだと分かりました。もちろん、プロになるためには夢や希望だけでなく、日々の努力が必要だと言われましたが、日々の努力は「将来の夢や希望、目標をもつこと」によって引き出される力ではないでしょうか。

10月26日(金)、黒部市国際文化センター「コラーレ」にて、第13回黒部市小学校音楽会が開かれました。今年は2年に1度の発表の年で、5・6年生55名の子供たちが満席のカーターホールで、パワーあふれる歌声と合奏を響かせました。

発表した曲は、東京スカパラオーケストラの「Paradise Has No Border」です。この曲は、テレビコマーシャルの中で使用されていたことがあり、耳慣れている子供たちが多かったようです。また、今年の子供たちならではの「元気のよさ」を生かした発表にしたいと、音楽指導の大久保利奈先生にご相談したところ、慣れ親しんでいる地域の唄「荻生小唄」を交えたアレンジを加えていただくこととなりました。この計画を子供たちに告げたときの驚いた表情は、忘れられません。「どうするの?」という疑問と「どんな風になるの?」という期待感がひしひしと伝わってきました。



「音は、みんなで創る」を合言葉に、音楽会に向けての本格的な練習を始めたのは、運動会の翌週からです。まずは、自分の音を奏でられるようになることを目標に練習を進めました。模範演奏の入ったCDをかけたり、パート譜とにらめっこしたりしながら、練習を重ねる姿が見られました。休み時間にも進んで集まり、練習に励む姿を見ると、どんな音が創られるのだろうと合奏練習の開始が待ち遠しくなりました。合奏練習が始まると、子供たちは「音を合わせることの難しさ」に直面しました。テンポのよい曲調のためか、自分の得意な部分はどんどん速くなり、大久保先生からは、何度も「友達のを聞こう」「体でも音を感じよう」とのご助言をいただきました。しかし、なかなか思うような表現につながらず、子供たちの中には「もうできているよ…」という声も出始めました。

子供たちの雰囲気が変わったのは、本番1週間前。どんな演奏をしたいかを、一人一人がみんなの前で伝えたことがきっかけでした。心の中に秘めていた思いを言葉にし、互いに聞き合ったことで、「よい演奏をしたい」「自分も楽しく、聞いている人にも楽しんでもらえる演奏がしたい」と、創りたい音への共有感が一層深まりました。意識が変わると音も変わり、優しく凜とした歌声と力強い合奏が体育館いっぱいに広がるようになりました。何より表情が変わり、目にも輝きが増してきました。

当日は、前日リハーサルが功を奏し、落ち着いた雰囲気の中で発表が始まりました。特に、合奏後半の音の重なりは力強く、みんなの音が1つに高まっていく瞬間を創ることができました。よい緊張感の中で、練習の成果を発揮し、全員で音と心を合わせて演奏することができたことに喜びを感じた子供も多かったようです。みんなで音を創ることの楽しさ、練習を重ねて味わうことのできた達成感。今回の経験を通して感じたさまざまなことが、一人一人の「次へ」とつながっていくことを期待しています。

♪音楽会をふり返って～児童の感想より～

○本番では、練習をしたかいたがよかったと思える演奏ができました。目当ての「みんなで音を創る」も達成できたのでよかったです。みんなといっしょに演奏ができて、うれしかったです。

○本番では、他校の人たちがたくさんいて、少しきんちょうして間違ってしまったけれど、先生の指揮を見ていたら最後までやりきれました。みんなで心をつなげて合奏ができたので、とても楽しい音楽会になりました。

1 学期より成長したよ ～2 学期学習参観～

11月2日（金）、2学期の学習参観が行われました。多数の保護者の方々にご参観いただき、子供たちも張り切って発表したり活動したりしていました。1学期よりも大きく成長した様子をご覧いただけたのではないかと思います。



1年 音楽「いろいろな音をたのしもう」



2年 国語「お話のさくしゃになろう」



3年 国語「修飾語」



4年 国語「慣用句」



5年 算数「分数のたし算とひき算」



6年 理科「火山の噴火を観察しよう」



あおぞら級 生活単元「あおぞらすごろく」でたのしくあそぼう



ひまわり級 自立活動「季節を味わおう・秋」

地域やP T Aの方々にお世話いただいた「荻生地区 収穫祭」

10月27日（土）、荻生地区恒例の収穫祭が、荻生の館、トレーニングセンター、荻生小学校を会場に行われました。今年度は、例年より一週間以上早く、公民館祭りの1日目に行われました。

当日は、雨交じりのあいにくの天候でしたが、児童・保護者・地域の皆様約240名あまりが参加し、盛大な収穫祭となりました。

1～3年生は、トレーニングセンターで「軽スポーツ」、4年生はランチルームで「味噌汁づくり」、5年生は家庭科室で「おにぎりづくり」、6年生は荻生の館で「餅づくり」に取り組みました。その後、参加者全員がランチルームに集まり、つきたての餅や手作りのおにぎり、温かい味噌汁をいただきました。

地域やP T Aの方々にお世話いただきましたことに、深く感謝申し上げます。子供たちにとっては、心も体も温まる収穫祭になりました。



11月の行事予定

- 12日（月） ふれあい（教育相談）週間、
学校保健委員会5限
卒業アルバム撮影（委員会、クラブ活動）
- 13日（火） 3年総合校外学習（山本家）
- 14日（水） リサイクルの日
- 16日（金） フレンド集会（1年生）
- 17日（土）～19日（月） 市幼小中美術展 コラーレ
- 20日（火） 避難訓練（火災）
- 21日（水） 6年生中学校見学会、卒業アルバム撮影（全体）
- 23日（金） 勤労感謝の日
- 25日（日） 荻生地区体協ボウリング大会
- 28日（水） リサイクルの日
- 29日（木） 黒部地場産学校給食の日、スマイル集会
- 30日（金） フレンド集会（図書委員会）、委員会活動（2学期最終）



12月の行事予定

- 6日（木） 個別懇談会（4・5分団）
- 7日（金） 個別懇談会（1・2・3分団）
- 14日（金） 地区児童会、集団下校
- 20日（木） 給食最終日
- 21日（金） 第2学期終業式